

# アンケート調査にご協力いただきありがとうございました。

下記に結果の一部を抜粋しました。

平成25年3月まとめ

(設問を全て回答頂いてない方もあり数字は一致しない所もあります。)

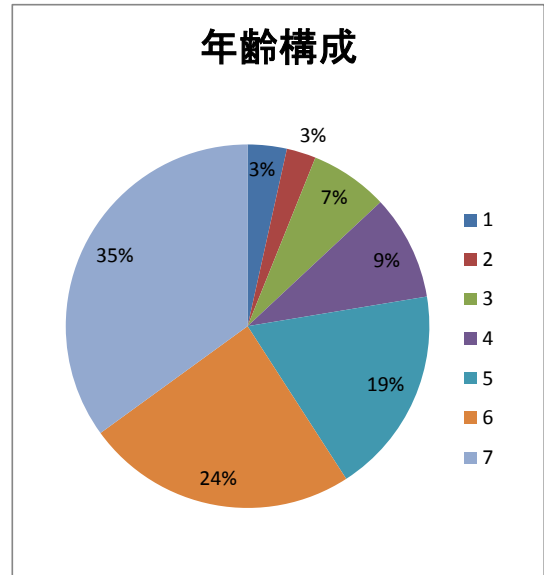
表.1 回答頂いた方々の年代・性別

凡例番号	年代	人数	男性	女性
1	10代	16	12	4
2	20代	12	5	7
3	30代	32	20	12
4	40代	43	19	24
5	50代	85	47	38
6	60代	111	52	59
7	70代	161	78	83
	合計	460名	233名	227名

(回収率71%)

表.2

家族構成					
1人	2人	3人	4人	5人	6人
27	121	103	76	63	62



## ◎大野地区の「住みごこち」についての回答

### ベスト3

- ・ 山や川など自然環境に恵まれている
- ・ 公害がなく、空気がきれいである
- ・ 長年住み慣れてて、愛着がある

### ワースト3

- ・ 買い物の便が悪い(通勤・通学も含む)
- ・ 病院などの医療設備が整っていない
- ・ 昔ながらの習慣や近所つきあいが大変

## ◎大野地域に住み続けたいの問いに関しては

表.3

(%)

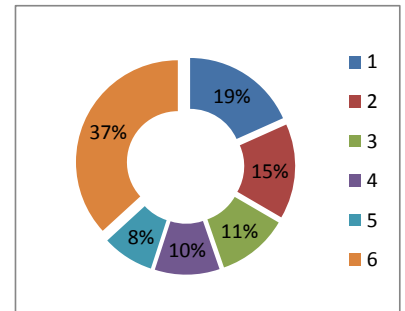
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
住み続けたい	41.7	16.7	90.9	83.3	72.6	83.9	85.0
住み続けたくない	58.3	83.3	9.1	16.2	27.4	16.1	15.0

## ◎どのような地域であって欲しいと考えておられるか

凡例番号

(%)

1	老人や障害者があんしんして住める 福祉の地域	18.3
2	今までと変わらず、おだやかな地域	15.1
3	特産物などを生かした 農林業の地域	11.3
4	商業や、各種サービス業を盛んにした 賑わいのある地域	10.3
5	自然を利用し、アウトドアの楽しめる リゾート地域	8.2
6	その他	36.8

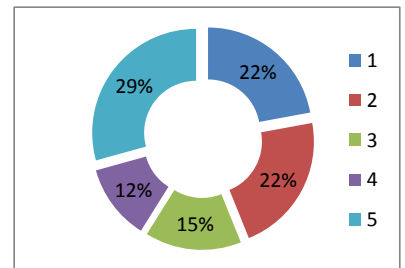


## ◎「魅力ある地域」にするにはどのような事が必要か

凡例番号

(%)

1	工場を誘致して産業の発展をはかり、町内で働く場所の確保	22.1
2	近隣地域や京都市内へのアクセスを広げる	21.8
3	各種団体でつくる手作りの食品や特産物づくりを拡大する	15.0
4	自然を生かし、やすらぎあるファミリー公園などをつくる	11.8
5	その他	29.3



高齢化、核家族化と言われる中ですが集計の結果、表2の通り約半数の方々が多数数の家族で生活されており、心強い数字になっています。しかし、若い年層では地域に住み続けたくないと思っている結果となっています。(表3) その理由として、通勤・通学・買い物の不便さがあがっており交通網の整備が望まれます。また、自然環境に恵まれている事が地域の魅力であり、自然をいかし特産物づくり等を拡大し地域発展を望まれる声も多数ありました。皆様方のご意見、ご希望を今後の活動にいかしていきます。